

事業所名

児童発達支援事業所 まなざし

支援プログラム

作成日

2026 年

4 月

1 日

法人（事業所）理念	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの個々のニーズに寄り添いながら、生き抜く力を育てる ・子どもの発達と自立の支援を目指す ・子ども及び家庭との信頼関係を大切にし、協力して支援に取り組む ・地域社会における様々なニーズに的確に対応した施設サービスを行う 		
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> ・個別や小集団での生活や遊びを通し、一つひとつの積み重ねを大切に、学び・気づき・チャレンジを繰り返すことで「できる」を自信に繋げ、「またやろう」と一歩踏み出す力を身に付けられるように支援します ・個々の特性を理解し、配慮の上で運動面や精神面の発達を促します。 ・日常生活における基本動作を指導し、集団生活へ適応する為の訓練等の支援を行います 		
営業時間	8時00分～17時00分 療育時間 9時30分～14時00分 延長療育 ①8時30分～9時30分 ②14時00分～16時00分	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	基本的な生活動作(清潔保持・着脱・排泄・食事等)の獲得と主体性の習得を目指します	
	運動・感覚	運動遊びを通して、体幹・姿勢の安定、体力・身体機能の向上、バランス感覚の改善・充実(感覚統合)を図ります	
	認知・行動	子ども一人ひとりの認知の特性を理解した上で、五感(視覚・聴覚・触覚・味覚・嗅覚)から得られた情報から、自分をとりまく状況を認知し、適切な判断や行動へつなげられるよう支援します	
	言語コミュニケーション	友達や職員との交流を通じて、言葉や表情・身振りなどによる基礎的なコミュニケーション能力の向上を図ります	
	人間関係社会性	遊び等を通した人の動きの模倣等を通じて、子どもの社会性の発達を図ります。また、一人遊びから、役割分担やルールを守っての協同遊びへの移行を通して、仲間づくりと集団への参加を促し、他人との適切な距離感や社会性を身につけられるように支援します	
家族支援	保護者がいつでも気軽に相談できるような雰囲気づくりを心掛け、良好な関係を構築して、適切できめ細やかなケアを行えるよう努めます。日々の送迎時に、保護者への声掛けや情報交換を行い、定期的な面談(モニタリング)でも随時丁寧に対応するように努めます		
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの並行通園先との情報共有・連携を図り、障害特性を踏まえた一貫性のある支援に努めます ・子どもの健やかな成長を目指す支援育成のため、関係の行政機関、医療機関等とも必要な情報を共有し連携を図るように努めます 		
移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・就学などのライフステージの切り替わりを見据え、将来的な移行に向けた支援を行います。 ・就学の際、通所児童の発達状況やこれまでの支援経過を、並行通園先と情報共有し通学校に引継ぐことで、継続的な支援が行えるようにします。 		
職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・各種マニュアルに基づき事業所内で実施する研修や、地域で開催される発達や支援に関わる研修会等の外部研修を受講し、職員全員で情報共有し意識・技量の向上を図ります ・毎日のミーティング等を通して、個別支援計画に基づいた子どもの状況や変化を情報共有し、きめ細やかな支援に生かしていきます。 		
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・季節にあわせた制作活動・「ふれあいDay」(祖父母参観、父母参観等) ・地域住民とのふれあい交流(合同夏祭り、もちつき会等) ・「さいごうファーム」と連携を取り、動物とのふれあい等の自然体験 ・「きらきら保育園」園児との交流 		